

2023 年度 事業活動報告

1. 事業活動点検・評価

ショップ開設から 21 年目の今年度。ショップ経営は、前年度より売上額は、21 万 7 千円以上の減額となりました。これによって国内外の団体に対する支援金額も、前年度より 14 万円以上の減額となりました。厳しい夏の暑さが続いたこと等、天候が不順だった影響があるとは思いますが、ショップの品出しや値付けの精査、広報の不足等の課題があったと考えます。

民際支援事業では、助成金としては「平和村ユナイテッド」「日本国際ボランティアセンター (JVC) パレスチナ事業」、及び寄付金として「FGM 廃絶を支援する女たちの会 (WAAF)」の 3 団体に絞りました。一方、2 年前から続くロシアによるウクライナ侵攻と、2023 年 10 月のイスラエルによるパレスチナへの攻撃の開始による一般市民の悲惨な状況が続き、これらは今も終息が見えません。また、2023 年 2 月トルコ・シリアでの大地震、2024 年元日に発生した能登半島大地震と、天災が起きました。これらについて、それぞれの地域で支援をしている団体の活動を応援するため、ショップに募金箱を設置し、お客様に募金を呼びかけました。

5 年前に、神奈川県指定 NPO 法人の認可を受けましたが、2023 年 9 月更新の手続きを行い、12 月 20 日認可を受けました。続いて、伊勢原市指定 NPO 法人の更新手続きを行いました。

2. 事業活動報告

(1) 資源のリユース・リサイクルを推進する事業 (リユース事業)

① WE ショップいせはら」の運営を行いました。

- ・ 市民から寄付された提供品を整理・販売しました。
- ・ エコものセンターの物流 (キャリー便) を利用して、提供された品物を季節ごとに仕分けして、季節に合った品物を販売することに努めました。
- ・ 6 月 23 日の開店記念日セール (21 周年) は、恒例の全品半額セールと合わせて 1,000 円以上お買い上げのお客様に、エコ手袋を差し上げました。
- ・ 業務内容については、衣類の品出し時を分かりやすくする為の値札の色分けのチェックを確実にを行うことによって、入れ替えがスムーズになりました。
- ・ 10 月から着物の常設を始めました。これは年々着物の提供が多くなっていることから、より多くの着物の販売を促進する事を目指しました。
- ・ 12 月からフードドライブの常設を始めました。消費期限を 2 ヶ月先までのものとして集荷した品物は「いせはら相互扶助の会ふらっと」に届けました。
- ・ 最近の傾向として、外国人のお客様が増えてきていることから、WE ショップの事業について理解してもらうために、英語表記のチラシを作成しました。
- ・ ボランティアミーティングの開催は、総会時 (5 月) と大掃除後 (12 月) の 2 回のみでした。年間活動計画の確認とボランティアワークの共有を図りました。
- ・ WE21 ジャパン主催のアニバーサルフェアや WE バザール IN 相模大野などのイベントには、ボランティアさんの積極的な参加がありました。
- ・ WE21 ジャパン県央スタッフ連絡会に参加しました。

1月23日 担当地域：WE海老名 参加：米永

3月21日 担当地域：WE厚木 参加：広川

・ 昨年度実績

営業日数： 282日 (285日)
売 上： 5,117,535円 (月平均426,461円) (5,335,245円)
来客数： 延 8,975人 (月平均748人) (9,540)
提供者数： 延 1,929人 (月平均 161人) (1,849人)
ボランティア：延 817人 (月平均 68人) (872人)

・ 次の企画を行いました。

2023年 6/23 21周年記念セール (売上金額 88,365円)
7/31～8/2 夏物半額セール (売上金額 78,935円)
10/16・17 貧困なくそうキャンペーン (売上金額 38,145円)
11/29・30～12/1・2 冬物半額セール (売上金額 191,585円)
12/25・26 年末セール (売上金額 105,895円)
2024年 1/9 初売り (お年玉チケットを80枚配布)
2/26・27・28 和もの市 (売上金額 86,800円)

② 寄付された品物で販売に適さないものは適正に処理をしました。

- ・ 衣類・和もの・カバンは、WE21 ジャパンが提携しているW. C o キャリーの運送に託し、(株)ナカノのファイバー工場へ搬入しました。
- ・ 廃棄物事業系ゴミとして、(有)タチオカと契約し可燃ごみ(1袋500円)・不燃ゴミ(2袋分1000円)・紙類(無料)を分別し排出しました。
- ・ 綿製品のファイバーの一部は、小規模多機能施設「風の丘」でウエスとして利用していただきました。(1袋200円で売却)
- ・ むいぐるみは11月18日に実施されたサポセンフェスタにて、景品に提供しました。

③ 資源の活用や民際支援のために利用できるものの集積場所として、WEショップを活用しました。

- ・ 「ユニセフ外国コイン募金」の収集に協力しました。
- ・ フードドライブを10月に実施し、集まった食品は、「フードドライブいせはら」(実施団体：いせはら相互扶助の会ふらっと、協力団体：めぐみ不動産)に届けました。12月以降は、常設とし毎月1回届けました。
- ・ 「グリーン・ダウン・プロジェクト (GDP)」に加入し、羽毛布団やダウンジャケットの回収に協力しました。
- ・ 使用済みの携帯電話等々の小型家電の回収機「めぐりケータイ」を店内に設置し回収に協力しました。(収集個数7個)
- ・ 書き損じ葉書・切手の寄付を募りました。

④ リメイクチームが活動しました。、毎月第1日曜日の午後、ショップバックヤードにて行いました。ショップにある材料を活かした小物づくり等を行い、販売しました。

4月2日 新年度ミーティング (9名) 5月7日 浴衣ほどき (8名)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 6月4日 お手玉作り (10名) | 7月9日 花火タペストリー (8名) |
| 8月7日 花火タペストリー仕上げ (7名) | 9月3日 ネクタイポーチ (9名) |
| 10月1日 押し絵飾り (9名) | 11月5日 クリスマスオーナメント (8名) |
| 12月3日 龍ストラップ (10名) | 1月7日 スヌード手縫い (7名) |
| 2月5日 毛糸のポーチ (7名) | 3月3日 お手玉 (7名) |

チームメンバーとは別に、数名が編み物や和ものからのリメイク衣料、バッグ類などを作成し販売しました。

- ⑤ スムーズなショップ運営と事業経営のため、WE21 ジャパン主催の講座等に参加しました。

7月14日 基礎研修参加 (渡辺)

《日時》	通年
《場所》	伊勢原市石田 (WEショップいせはら)
《従事者》	理事 7名、ボランティア 実人数 17名
《受益対象者》	主に伊勢原市石田周辺在住の市民 顧客数 8,975名、 寄付者数 1,929名
《支出額》	4,628,237円

(2) アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業 (民際支援)

① WE 21 ジャパン・伊勢原の支援事業

- ・ 2023年度の民際支援費は、国内外に273,534円 (前年度419,011円) で、前年度より約14万5千円の減額となりました。
- ・ 助成金・寄付金・募金によって、民際支援活動を行っている団体を支援しました。
- ・ 支援先・金額等の討議決定は、理事会で行いました。また、支援先の担当者を決めて分担して対応しました。

●2023年11月6日

団体名：めぐみ会

国名・地域名：伊勢原市全域

金額：40,050円 (募金1,905円 寄付金38,145円)

内容：貧困家庭の子どもたちのために「こども食堂」を毎日開設したいというオーナーの思いで、2023年9月に伊勢原駅近くに開店。有機食材や発酵食品を使用し、食材にもこだわるレストラン (めぐみキッチン) を支援。寄付金は、10月貧困なくそうキャンペーン期間2日間のWEショップ売上金。

継続：初めて

●2023年12月5日

団体名：認定NPO法人 日本国際ボランティアセンター (JVC)

国名、：トルコ・シリア

金額：5,570 円（募金 5,570 円）

内容：2023年2月にトルコ南部で発生した大地震の支援活動。トルコに拠点をおきシリアで女性支援を行う現地 NGO「SEWAR」と協働し、アレッポ県北部の避難民キャンプで支援活動。またクルド赤新月社を通して、医薬品・ベッドマット・毛布などの生活用品の支援、食料支援や災害後の精神的ケアを実施。

継続：初めて

●2024年1月19日

団体名：NPO 法人 日本イラク医療支援ネットワーク（J I M-N E T）

国名：イラク・シリア・福島（日本）

金額：11,000 円（募金 11,000 円）

内容：チョコ募金に協力。募金はイラクの小児ガンの医療支援、イラク国内のシリア難民が暮らす難民キャンプで妊産婦ワークショップの開催等と医療支援、日本国内での福島の子どもの放射能測定、保養活動、定期健康診断を行う団体で活用。

継続：8年目

●2024年2月2日、3月28日

団体名：認定NPO 法人 チャイルド・ファンド・ジャパン

国名：ウクライナ

金額：11,316 円（募金 7,084 円（2月2日）、4,232 円（3月28日））

内容：ロシアによるウクライナへの侵攻は2年以上が経過しており、街が破壊され続け、生活が維持できない状況に陥っている。隣国モルドバから生活必需品の支援や心のケアを実施している。

継続：2年目

●2024年3月22日

団体名：FGM廃絶を支援する女たちの会（W A A F）

国名：タンザニア、セネガル

金額：40,000 円（反FGM基金 30,000 円、日本支部 10,000 円）（寄附金）

内容：2022年度反FGM基金の交付団体は、タンザニア「Woman Wake Up」、セネガル「LaPalabre Senegal」であった。タンザニアでは、多くの人びとが集まる市場で毎月2回、街頭キャンペーンを展開。セネガルでは、ラジオ放送、学校での啓発授業、コミュニティリーダーの意識向上を実施。

継続：19年目（2021年は休止）

●2024年3月22日

団体名：一般社団法人 平和村ユナイテッド

国名：アフガニスタン・パキスタン

金額：80,000 円（助成金 80,000 円）

内容：アフガニスタンでは、タリバンが実権を握って以降、極めて厳しい女性の権利制限が行われ、教育は中等教育以上が無期限停止されている。それでも学びたいという女性たちの「地下学級」が、厳しい状況の中で運営されている。

継続：2 年目

● 2024 年 3 月 22 日

団体名：認定 NPO 法人 日本国際ボランティアセンター（JVC）パレスチナ事業

国名：パレスチナ

金額：74,811 円（助成金 70,000 円、募金 4,811 円）

内容：2023 年 10 月に始まったイスラエルのパレスチナ・ガザ地区への侵攻によって、住民には多大な被害が発生している。JVC では、これまでも女性の生計向上とエンパワメント事業（東エルサレム地区）、子どもの栄養改善事業（ガザ地区）を実施してきた実績がある。現在は緊急支援として、医療支援、粉ミルクの配布、現金給付を実施している。

継続：初めて

● 2024 年 3 月 28 日

団体名：公益財団法人 共生地域創造財団

国名：日本・能登半島地域

金額：10,787 円（募金 10,787 円）

内容：2024 年元日に発生した能登半島地震の被害地支援活動。「最も小さくされた人に偏った支援を行う」ことが活動方針。支援物資の調達、被災した地域での「復興支援」や「生活再建支援」に取り組む NPO 法人等への支援を実施している。

継続：初めて

② 以下の提言に賛同しました。

- JVC による「イスラエル・パレスチナにおける武力行為の即時停止を求める要請文」に賛同を表明しました。（12 月 2 日理事会決定）

- JVC による「ガザ地区停戦を願う緊急記者会見に賛同する」提言に賛同を表明しました。（1 月 6 日理事会決定）

③ フェアトレード品等の販売

- ・森育ちのしょうがパウダー（フィリピン）の販売をしました。これは、WE21 ジャパンが現地での製品化・パッケージの制作、輸入、販売までを手掛けてきたものであり、現地住民の方々との関係を構築して、WE ショップで販売している貴重なフェアトレード製品です。
- ・「第 3 世界ショップ」から、チョコレート、ドライフルーツ、カレー等を卸購入し販売

しました。

- ・ 東日本大震災復興支援品として、気仙沼のワカメ・昆布等の海産物業者「(有) ムラカミ」から卸購入し販売しました。おいしいと非常に好評でした。
- ・ 障がい者地域作業所の支援を目的に、菓子類の販売をしました。

(社福) 伊勢原市手をつなぐ育成会地域作業所ドリーム (伊勢原市桜台) のポップコーン
NPO 法人脳外傷友の会ナナピアサポートセンター「スペースナナ」(厚木市愛甲) のクッキー

- ④ 支援の充実のためWE 2 1 ジャパン主催等の講座や学習会、NGO等の報告会に参加し、情報収集に努力しました。

- 9月12日 アフガニスタン連絡会 (浜田)
- 12月1日 平和村ユナイテッド報告会 (主催: WE 相模原) (竹内・浜田)
- 1月23日 しょうがパウダーミーティング (浜田)
- 2月10日 共同の家プア活動報告会 (主催・WE ちがさき) (浜田)

《日時》	通年
《場所》	アジア地域、伊勢原市、厚木市
《従事者》	理事 7名
《受益対象者》	アジア地域の団体、神奈川県内
《支出額》	574,637円

(3) 地域市民の国際的な意義の自覚を促進する事業 (共育活動)

支援事業・資源循環事業を推進していくうえで必要な情報を共有する場として「WE 講座」を3回開催することとじていましたが、2回となりました。また見学会を1回実施しました。

- 2023年5月26日(金) 「FGM 廃絶を支援する女たちの会 (WAAF) 活動報告」
講師: ニナ・ラージさん、土屋有利子さん、及位満枝さん (WAAF スタッフ)
参加者: 17名

内容: FGM (主にアフリカで行われている女性性器の切除) について詳細な解説。切除は、麻酔もなく消毒もせずに実施、激しい痛み、命を落とすこともあり、出産時の苦痛もあり、まさに悪習。国連やアフリカ諸国でも禁止の法律が制定されているが続いている。根本的には女性蔑視があり廃絶までは努力を要する。(Zoomにて実施)

- 2023年10月16日(金) こども食堂 見学

講師: 竹田恵子さん (めぐみキッチンオーナー)

参加者: 9名

内容: 伊勢原駅北口近くに開店した「めぐみキッチン (こども食堂)」を見学し、オーナーより活動に対する思いを聞いた。食材にこだわるお食事をいただきながら、ひとり親支援・居住支援・障がい者グループホーム・就労継続支援・めぐみ農園

など地域に関わる居場所づくりの活動についてお話を伺った。

●2023年12月21日(木) (株)ナカノ見学会

参加者：5名

内容：ショップから搬出している衣類等のその後の活用、廃棄の詳細について話を伺い、ナカノの事業をより理解する事ができた。

《日時》	通年
《場所》	WEショップいせはら
《従事者》	理事7名
《受益対象者》	近隣市民
《支出額》	12,944円

(4) この法人の事業の広報普及を図る事業(広報活動)

- ① WE21ジャパン・伊勢原のHPに活動予定や報告を掲載しました。
- ② WE21ジャパン・伊勢原の活動を伝える「WEニュース」を発行しました。
No. 67 (2023年6月15日発行) (600部発行)
WEショップ案内、2022年支援先情報 等
(生活クラブ伊勢原コモンズ組合員に対する配布を行いました。)
No. 68 (2023年11月10日発行) (300部発行)
WE講座「こども食堂を毎日!開店する!」
貧困なくそうキャンペーン報告 等
No. 69 (2024年1月20日発行) (300部発行)
ナカノ秦野工場見学報告 等
「WEニュースCM版」は、随時市内に配布しました。(約500部配布)
- ③ 店内の掲示・パンフ類は、国内外の支援先の情報を掲示しました。
キャンペーン、WE講座、セール等の案内の掲示を行ないました。
- ④ FaceBookやInstagram等でショップ情報の発信を模索しましたが、できませんでした。

《日時》	通年
《場所》	WEショップいせはら
《従事者》	理事 7名
《受益対象者》	近隣市民
《支出額》	54,301円

(5) 当法人の目的達成に必要な事業

1) 組織活動

- ・理事会は、毎月原則として第1土曜日午前開催、計画に沿って提案・討議し実行しました。
- ・会員数は31名です。(目標35名)
- ・理事メンバーのライングループで連絡を取り合いました。

2) WE 2 1 ジャパンおよびWE 2 1 地域 NPO との連携

- ・ WE 2 1 ジャパンの団体会員です。(団体会費 50,000 円)
- ・ WE 2 1 ジャパンとの契約に基づき、年額 520,747 円 (物流事業費 383,460 円、商標使用料 121,666 円、ネットワーク推進費 15,621 円) を WE 2 1 ジャパンに事業委託しました。(昨年度は年額 475,478 円)。
- ・ 理事長・理事が、グループ会議、学習会・報告会等に参加・協力しました。

3) 地域および他団体との連携

- ・ 県立伊勢原支援学校伊志田分教室の生徒4名(前・後期2名ずつ)のインターンシップ研修に協力しました。長期休業の期間を除き、毎週火曜・木曜の10時より12時まで、担当の教師と連絡を密にして、トラブルもなく協力できました。
- ・ 市内の環境に関わる活動を行っている団体の連携組織である「いせはら環境ネットワーク」(エコネット)に参加しました。
- ・ 5月13日・14日、活動のPRと市民団体の交流のため、伊勢原環境展に参加しました。
- ・ 市民活動サポートセンターに登録して、印刷機等を利用しました。
11月18日 市民活動サポセンフェスタでは、ポスター展、および、フェアトレード品等の紹介をしました。
- ・ 生活クラブ生協いせはらコモンズメンバーが運営に多く参加している「やさしいマルシェ」に参加しました。(11月23日 伊勢原総合運動公園にて)
- ・ 石田商工振興会に加入しています。
2023年 9月中旬 敬老事業に協力
2024年 1月14日 どんど焼き準備手伝い、1月15日 どんど焼き手伝い
- ・ 石田自治会に加入しています。

4) 納税額

2022年度の税金は、79,300円(前年度は70,000円)を支払いました。

《日時》	通年
《場所》	WEショップいせはら
《従事者》	理事 7名
《受益対象者》	近隣市民
《支出額》	159,406円